

## 令和4年度下野市行政評価市民評価 【委員個別評価集計表】

### 評価対象事業一覧

No.	部 名	所管課名	事 務 事 業 名
1	総合政策部	総合政策課	学校跡地活用推進事業
2		市民協働推進課	男女共同参画プラン策定事業
3	市民生活部	安全安心課	空き家除却事業
4	健康福祉部	社会福祉課	地域共生社会推進事業
5	産業振興部	農政課	担い手支援事業
6		商工観光課	天平の丘公園周辺施設整備事業
7	建設水道部	建設課	下野薬師寺いにしへの道整備事業
8		区画整理課	石橋駅周辺土地区画整理事業
9	教育委員会	学校教育課	学校教育サポートセンター整備事業
10		スポーツ振興課	大松山運動公園第2期整備事業

令和4年度 下野市行政評価市民評価シート【集計表】

事務事業名	学校跡地活用推進事業	所管部課	総合政策部	総合政策課
総合評価	継続実施	類型区分	I	積極的推進

	内部評価	委員評価	
必要性	A	A	7
		B	0
		C	0
有効性	B	A	4
		B	3
		C	0
効率性	A	A	2
		B	5
		C	0

		委員評価	
内部評価について	妥当である	4	
	おおむね妥当である	3	
	やや妥当ではない	行政評価が高すぎるため	0
		行政評価が低すぎるため	0
	妥当ではない	行政評価が高すぎるため	0
		行政評価が低すぎるため	0

評価意見	【妥当である】
	<p>➢民間事業者や地域懇談会の活用など、当該施設や地域の適性に合った形での対応が大切だと考える。</p> <p>➢吉田東小再活用計画における大学院生による提案など、当該地域外からのアイデアも積極的に取り入れてほしい。</p> <p>➢学校跡地の有効活用は、現在全国的な課題の一つ。廃校施設は、下野市にとって貴重な財産であり、引き続き地域の実情やニーズ等を踏まえ、有効活用が出来るよう進めていただきたい。</p> <p>➢薬小については、民間事業所の導入は今後の運営や維持費等を踏まえると適していると思われる。また、地域住民が参加する事業内容を検討していただきたい。</p> <p>➢この事業は、人口減が続く地域という厳しい条件下にあることを踏まえ、長期的視野に立ち、地域の方々の思いに市の将来の課題とも重ねた有効な施策でなければ、負の遺産になりかねない。 それを避けるには、ピンチをチャンスに変え、一例として現在まだまだ不足している高齢者施設(「特養」等)や障害児者施設(親亡き後の入所者施設等)でいずれも用地取得が最難関であり、また人口減が更に進んでも存続に耐えられる。(市街の住民も利用可) その手段としては、市の直営又は社会福祉法人による誘致が望まれる。(高齢者や障がい者の弱い立場の人の権利擁護の観点からも)</p>
	【おおむね妥当である】
	<p>➢学校跡地の利活用は当然必要ではあるが、その前に廃校措置は優先順位が低いにも関わらず、短兵急に事を進めたと思わざるを得ない。</p> <p>➢地元の歴史にかかわる名称は、一度外すと復活が難しいので、よく考えて残してほしい。</p>

令和4年度 下野市行政評価市民評価シート【集計表】

事務事業名	男女共同参画プラン策定事業	所管部課	総合政策部 市民協働推進課
総合評価	継続実施	類型区分	Ⅱ 継続的推進

	内部評価	委員評価	
必要性	A	A	7
		B	0
		C	0
有効性	A	A	6
		B	1
		C	0
効率性	B	A	1
		B	5
		C	1

		委員評価	
内部評価について	妥当である	1	
	おおむね妥当である	5	
	やや妥当ではない	行政評価が高すぎるため	1
		行政評価が低すぎるため	0
	妥当ではない	行政評価が高すぎるため	0
		行政評価が低すぎるため	0

評価意見	<b>【妥当である】</b>
	<p>➤社会全体の問題であると思うため、関係機関との連携が必要と考える。次期計画には、更に関係機関と連携した活動を計画しても良いのではないかと。</p>
	<b>【おおむね妥当である】</b>
	<p>➤地道な取り組みを今後とも継続してほしい。</p> <p>➤相談窓口の拡充を図るべきではないか。</p> <p>➤「第三次下野市男女共同参画プラン」には、「多様な生き方」「すべての人々が活躍」「だれもが安心して」といった記載がある。このことから、LGBTQなど、男性・女性の軸のみでなく、性の多様性にも配慮した視点も大切ではないだろうか。</p> <p>➤男女共同参画社会の実現は必要性が増大しているものの、現状は依然として低い水準であり道半ばの状況。下野市も実現に向けた有効なプランを策定し、男女共同参画社会を実現させてほしい。</p> <p>➤この事業は、本来の目的が男女格差の解消にあると考えられ、女性の置かれた厳しい状況を考えれば、例えば雇用面に限っても、妊娠・出産が離職に追い込まれ、出産後の復職の道は、非正規あるいは非常勤（パート等）の職しか残されていないことや、育休や介護休業が十分取れないことなど、他にも多くの課題が山積しており、次期プランには一層踏み込んだ具体的な取り組みが望まれる。</p> <p>➤男女共同参画プランについては、事業で進めていけることと、個々の意識の変化の両方で進行状況が良くなるのではと考える。常に両面でこのプランを意識してもらえるように、多方面から働きかけてもらいたい。</p>
	<b>【やや妥当ではない（行政評価が高すぎるため）】</b>
<p>➤日本における女性の社会進出は世界でも低位であり、現状を打破する不断の努力は当然ながら必要であるが、理念型（基本目標）は明確であり、目標値（個別目標）もまたわかり。</p> <p>しかしながら、概ね5年毎に見直しを行っているとの事であるが、敢えて苦言を呈せば、男女共同参画イコール時代の趨勢に安易に乗じて事業化しているきらいもある。</p>	

令和4年度 下野市行政評価市民評価シート【集計表】

事務事業名	空き家除却事業	所管部課	市民生活部	安全安心課
総合評価	継続実施	類型区分	I	積極的推進

	内部評価	委員評価	
必要性	A	A	7
		B	0
		C	0
有効性	B	A	3
		B	4
		C	0
効率性	A	A	5
		B	2
		C	0

		委員評価	
内部評価について	妥当である	3	
	おおむね妥当である	4	
	やや妥当ではない	行政評価が高すぎるため	0
		行政評価が低すぎるため	0
	妥当ではない	行政評価が高すぎるため	0
		行政評価が低すぎるため	0

評価意見	【妥当である】
	<p>➤新たな居住者を生み出すことや、防犯上からも必要不可欠な事業。</p> <p>➤倒壊や防犯面から重要な事業である。引き続き実態調査等を含め取り組んでいただきたい。</p> <p>➤この事業は、衛生・防臭・防犯上放置できない問題であるうえ、実態把握、所有者等の確認、折衝まで、人手と時間を要して奥が深く、更に少子高齢化が拍車をかけ、今後増加が避けられないのは明らかで、継続的な取り組みが望まれる。 現在の取組みに加え、促進策として、50万円の補助額の増額(低所得者向け)や、移住希望者の受皿が古民家としての活用等他部門と連携し、幅広い対策が望まれる。</p>
	【おおむね妥当である】
	<p>➤国の補助活用に加えて、下野市の独自事業を検討してもいいのではないか。</p> <p>➤認定基準チェックリストのさらなる精緻化を図ってほしい。そのために、本事業への担当職員(現場つながりのマンパワー)の拡充を検討してほしい。</p> <p>➤本事業の遂行にあたっての自治会の協力は不可欠であり、これが市内各地区において不均衡とならないよう、努力を継続してほしい。</p> <p>➤危険の除去、防犯、私的管理をめぐる問題といった諸課題に地道に取り組んでいくことが大切である。</p> <p>➤委員会でも指摘した点ではあるが、除却事業補助金が計上されているが、当該補助金の適用にあたっては、所得要件がないとのことであるが、高所得層にも援用されるとすれば重大なモラル・ハザードであり、本市としては条例・規則の制定をすべきと思料する。</p> <p>➤個人の所有するものに係ることなので、問題が多いと思われる。 地道に進めて行くしかないと思うが、法的根拠に基づいて、安全・安心のため、迅速に処理出来ることを希望する。</p> <p>➤業者による調査後、各自治会長の意見を聞いてみてはどうか。</p>

令和4年度 下野市行政評価市民評価シート【集計表】

事務事業名	地域共生社会推進事業	所管部課	健康福祉部	社会福祉課
総合評価	見直し実施	類型区分	I	積極的推進

	内部評価	委員評価	
必要性	B	A	4
		B	5
		C	0
有効性	B	A	2
		B	7
		C	0
効率性	B	A	1
		B	8
		C	0

		委員評価	
内部評価について	妥当である	1	
	おおむね妥当である	6	
	やや妥当ではない	行政評価が高すぎるため	0
		行政評価が低すぎるため	0
	妥当ではない	行政評価が高すぎるため	1
		行政評価が低すぎるため	1

評価意見	<b>【妥当である】</b>
	<p>➢社会福祉法の改正に基づく事業整備であるため引き続き取り組んでいただきたい。新たな職員配置については、専門性が求められる職種であると思うため、早めの対応が必要と考えられる。</p>
	<b>【おおむね妥当である】</b>
	<p>➢重層的支援体制は地域社会の支え合い・助け合いの根幹との認識を行政職員の間浸透させてほしい。</p> <p>➢対象とする「介護」「障害」「子ども」「困窮」が相互に関連する多くのケースがあると思われる。責任の所在が薄まらないよう、多機関協働事業においてリーダーシップを発揮する主体を明確に位置付けておく必要がある。</p> <p>➢アウトリーチの実践を重要視してほしい。</p> <p>➢安定かつ継続する確実な相談窓口の運用もポイントとなると思われる。</p> <p>➢多くの人の意見を取り入れ、効果のある事業をしてほしい。</p> <p>➢制度の狭間にある問題が増加している状況であり、支援が必要な人がスムーズに相談ができ、支援を受けられる体制としていただきたい。</p> <p>➢8050、ヤングケアラー問題等々、社会問題に重層的取り組みを行うことは重要。相談対応の充実と合わせて、問題解決に向けできるだけ当事者によりそった総合的な対応をお願いしたい。</p>
	<b>【妥当ではない(行政評価が高すぎるため)】</b>
	<p>➢この事業の必要性は理解できるが、既存の人員で対応できるのではないか。「相談支援包括化推進員」の人権費が計上されているが、これは市職員OB・OGの再任用、天下りの受け皿という性格が強いように思われる。</p>
	<b>【妥当ではない(行政評価が低すぎるため)】</b>
<p>➢介護、障がい、ひきこもり、子育て、生活困窮など、多様な問題を抱える人への支援が縦割りのため、必要な支援が抜け落ち、ヤングケアラー問題の浮上により、その弊害が顕著になり、その改善への取組の要諦は、多様な問題を抱える人についての情報把握及び多様な支援機関の連携とその調整であり、新たに屋上屋を重ねるのではなく、情報把握は、地域で既に豊富な情報源を持つ支援機関(地域包括支援センター、福祉事務所、障がい者就業施設、支援センター、社会福祉協議会等)や人材(民生委員、保健師、ケアマネージャー等)の活用如何にかかっており、そこで得た情報により、支援に関わる関係者が顔の見える形で「我がこと、丸ごと」の血の通った視点で、コーディネートする調整力が求められる。</p> <p>国は、この重層的支援体制整備事業について、平成28年からモデル事業として支援し、全国で279以上の地方自治体で実施済みで、その後令和2年には、4分の3の極めて高率の補助制度を設け、本格的な促進を図っており、日々進行形の問題なので、本市も平成6年まで待つのではなく、出来る所から早急な実施が望まれる。</p>	

令和4年度 下野市行政評価市民評価シート【集計表】

事務事業名	担い手支援事業	所管部課	産業振興部	農政課
総合評価	継続実施	類型区分	I	積極的推進

	内部評価	委員評価	
必要性	A	A	9
		B	0
		C	0
有効性	B	A	3
		B	6
		C	0
効率性	A	A	5
		B	4
		C	0

			委員評価
内部評価について	妥当である		2
	おおむね妥当である		6
	やや妥当ではない	行政評価が高すぎるため	1
		行政評価が低すぎるため	0
	妥当ではない	行政評価が高すぎるため	0
		行政評価が低すぎるため	0

評価意見	【妥当である】
	<p>&gt;「担い手」の増加以上に、大規模農地従事者による「集約」を重視した施策を打ち出してはどうか。 「新規就農塾」は継続重視と同時にさらなる充実を図ってほしい。 地元の子どもたちの農業への関心を高める体験事業などの充実さらに力を入れてほしい。</p> <p>&gt; 青年層や新規就農者の確保については、ハードルが高いと思われる。現状の支援を継続しながら新たな市独自の補助金等の支援が出来れば農業(畑)を考える方が増えると感じた。</p>
	【おおむね妥当である】
	<p>&gt; 毎年度養蚕支援事業として240,000円が計上されるものの、決算額は70,500円～73,500円、差額は不用額となる。この事業だけが予算額と決算額との乖離が発生するならまだしも、下野市の決算状況をみると、不用額のパーセンテージが他の自治体に比べて多いという事実を鑑みて、予算設定時の積算がいささか甘いのではないか。 自治体の予算は概ね単年度会計であり、不用額の割合が毎年多いということは、貴重な予算が本来使われるべき分野に回らなかった恐れがあると言え、事業の積算に際しては、出来る限り正鵠を期す努力を要す。</p> <p>&gt; 努力していると感じられる。</p> <p>&gt; 農業従事者は減少し続けており、既農業経営者を維持させるためには、当該支援事業は必要かつ有効であると思われます。ただ、新規就農者の支援に繋がっているのかは疑問。</p> <p>&gt; 農業の担い手を支援する事業は非常に重要。担い手が減少していく根本的な原因は、農業自体が①重労働、②儲からない、③天候に左右され不安定といった、事業の将来性が見いだせないことと思う。 農地の集約化、機械化、ICT等による効率化を進め、重労働から解放するとともに、農産物のブランド化により、より付加価値の高い商品を生産することにより、安定した収益が確保できる事業に転換することが必要。 行政としても単に資金支援に留まることなく、事業構造の転換のための総合的な政策を立案、実行し、若者の心をひきつける事業を目指してほしい。</p>
	【やや妥当ではない(行政評価が高すぎるため)】
<p>&gt; この事業は、農業の担い手の減少における歯止めの為だけではなく、新規参入者を指すなら、土地、機械、技術指導、住宅、資金(営農、生活)等総合的な支援による取組が必要で、このような支援を行った地方自治体では多くの成果を上げ、地域の活性化にもつなげており、更に将来農業を志す学生への奨学金制度を設けるなど、一層充実した施策が望まれる。</p>	

令和4年度 下野市行政評価市民評価シート【集計表】

事務事業名	天平の丘公園周辺施設整備事業	所管部課	産業振興部	商工観光課
総合評価	見直し実施	類型区分	Ⅱ	継続的推進

	内部評価	委員評価	
必要性	B	A	6
		B	3
		C	0
有効性	B	A	3
		B	6
		C	0
効率性	B	A	4
		B	5
		C	0

		委員評価	
内部評価について	妥当である	3	
	おおむね妥当である	4	
	やや妥当ではない	行政評価が高すぎるため	0
		行政評価が低すぎるため	3
	妥当ではない	行政評価が高すぎるため	0
		行政評価が低すぎるため	0

評価意見	<b>【妥当である】</b>
	<p>➢利用者が安心して歩けるような平地林内の整備を早期に実現してほしい。整備終了後は確実・丁寧な維持管理と同時に、利用者マナーに関するPRや、魅力的なイベント開催による仕掛けなどの内容について今のうちから検討を始めてほしい。本事業の隙間を埋める事業に充当するための、寄付事業やCF(クラウドファンディング)を活用する可能性を探してほしい。</p> <p>➢花まつりイベントは知名度も高く市外からの来場も多いイベントである。予算的な問題もあると思いますが、計画的な改修工事を行い来場者数の増員に繋げていただきたい。また、特に花まつり時期には、車椅子を利用する方が多いので、高齢者や障がい者、子ども等が利用し易いバリアフリー対策をお願いしたい。</p>
	<b>【おおむね妥当である】</b>
	<p>➢天平の丘公園は、下野市の観光拠点の一つでもあるが、市民の憩いの場でもある。両方の観点から改修、整備等を進めていただきたい。</p> <p>➢下野市の未来に向けて、住民その他の憩いの場となり、観光資源としても最大限に活用すべきと考える。</p> <p>➢今回の説明を聞くまでは、天平の丘公園がこれほど立派な施設とは知らなかった。今後は積極的に整備を進め、子供から高齢者まで市民全員の憩いの場となるようにして欲しい。子供向けにはアスレチック等の遊具の整備や若い方向けに民家カフェメニューの更なる充実、一年中季節の花々が楽しめるウォーキングやジョギングの整備、高齢者向けの健康増進用ストレッチ器具等々、いろいろな角度から整備を進めてほしい。またこの公園の良さを広報を通じてもっと市民に知らしめてほしい。</p>
	<b>【やや妥当ではない(行政評価が低すぎるため)】</b>
<p>➢天平の丘公園は、昭和45年に国分尼寺として整備され、その10年後に、第1回花まつりが開催され、以降多くのイベントの開催や幾つもの施設を併設して総合的な公園に発展し、長きにわたって、本市の重要な観光資源として働き、目立ち始めた老朽化への対策とともに新しい社会の動きにも合わせた充実・発展させる整備が望まれる。</p> <p>➢本市で唯一の国の重要文化財に指定された埴輪が出土した甲塚古墳が民有地であるという事で本事業から除外されているが、モーターの撤去を含め、公有地化をすることにより、天平の丘公園の価値を高からしめる必要がある。</p>	

令和4年度 下野市行政評価市民評価シート【集計表】

事務事業名	下野薬師寺いにしへの道整備事業	所管部課	建設水道部	建設課
総合評価	継続実施	類型区分	I	積極的推進

	内部評価	委員評価	
必要性	A	A	7
		B	0
		C	0
有効性	A	A	7
		B	0
		C	0
効率性	B	A	2
		B	5
		C	0

		委員評価	
内部評価について	妥当である	4	
	おおむね妥当である	3	
	やや妥当ではない	行政評価が高すぎるため	0
		行政評価が低すぎるため	0
	妥当ではない	行政評価が高すぎるため	0
		行政評価が低すぎるため	0

評価意見	【妥当である】
	<p>➤とくに「美装化」のあり方について、文化財課との意向のすり合わせが大切である。</p> <p>➤地区全体を対象とした整備構想の視点は大切である。同時に生活者や営農者を守る対応とのバランスを取ってほしい。</p> <p>➤国の補助金を積極的に獲得する姿勢を貫いてほしい。</p> <p>➤下野薬師寺は、下野市にとって貴重な歴史的・文化的財産であり、その財産は最大限有効活用すべきであり、当該事業もその手段の一つであり、評価は妥当であると考えている。</p> <p>➤予算の問題もあると思うため、どのような街並みにするか地域住民と連携し、効率的な整備に取り組んでいただきたい。</p> <p>➤この事業は、奈良時代唐僧鑑真和上による授戒作法を執り行う東国唯一の戒壇で、東北・関東地方10か国の授戒と信仰の中心寺院であった下野薬師寺跡を中核として、周遊出来るように周辺の史跡等を有機的に結び付けて整備し、親近性・安全性を配慮し、見学者の便宜を図り、本市の豊かなイメージアップに貢献することが期待され、一層の施策の充実が望まれる。</p> <p>なお、この地域を本市の「西」の風土記の丘に抗して、「東」の何かふさわしいネーミングが望まれる。（「飛鳥いにしえの里」など）</p>
	【おおむね妥当である】
	<p>➤本市にとって貴重な安国寺・下野薬師寺周辺を整備することは大いに歓迎すべきではあるが、幅員をみると、既存の道路の改良にとどまるようであるが、拡幅して生活道路の改善を要望する地区も当然予想される訳であり、住民の要望・意向を十分に斟酌して事業に当たられたい。</p> <p>➤地域住民との話し合いにより、予算の無駄遣いが無いようにしていただきたい。</p> <p>➤戒壇院という、全国で3つしかない（後に天台宗も加わったらしいが）大切な歴史遺産を是非皆さんに知っていただき、下野市民の誇りと観光資源としても活用出来るようにしていただきたい。</p>

令和4年度 下野市行政評価市民評価シート【集計表】

事務事業名	石橋駅周辺土地区画整理事業	所管部課	建設水道部	区画整理課
総合評価	見直し実施	類型区分	Ⅱ	継続的推進

	内部評価	委員評価	
必要性	A	A	4
		B	3
		C	0
有効性	A	A	5
		B	1
		C	1
効率性	C	A	1
		B	1
		C	5

		委員評価	
内部評価について	妥当である	0	
	おおむね妥当である	3	
	やや妥当ではない	行政評価が高すぎるため	1
		行政評価が低すぎるため	1
	妥当ではない	行政評価が高すぎるため	2
		行政評価が低すぎるため	0

評価意見	【おおむね妥当である】
	<p>➢一部補償交渉の難航から、当該事業の遅れは顕著であるものの、「進捗率が約90%に達し整備が概ね完了に向かっている」現状を最重要視すべきと考える。それゆえに事業の打ち切りや直接執行といった選択は回避するのが妥当ではないだろうか。</p> <p>➢長年に亘り進めてきた事業であるため、今までの取り組みが無駄にならないよう継続的に事業を進めていただきたい。</p> <p>➢石橋駅周辺の区画整理は必要・有効な事業だが、あまりにも期間が長期となってしまう。</p> <p>ようやく進展する見込みも出てきており、このまま事業完成まで継続すべきものと思われる。</p>
	【やや妥当ではない(行政評価が高すぎるため)】
	<p>➢時間がかかりすぎると思う。ある程度の期限を決めて取り掛かることは出来なかったのか。</p>
	【やや妥当ではない(行政評価が低すぎるため)】
<p>➢この事業は、都市計画道路等の整備のため、私有地の公共用地等への転換を図るため、移転補償や代替地の確保が随伴し、対象地の中に商業を営んでいる土地が含まれていたため、顧客連れの移転はかなわず、従前の条件に見合う代替地の確保や移転補償は極めて困難なことが伺われ、代執行という強硬手段に訴えず、粘り強く交渉を続けた結果、極めて長期に渡って長引くことになり、ようやく地権者の前向きを引き出し、物件移転調査・算定までこぎつけることができ、担当者ご苦労がしのばれ、引き続き一層粘り強い交渉を続け、早期に完成することが望まれる。</p>	
【妥当ではない(行政評価が高すぎるため)】	
<p>➢当該事業は開始より34年経過、この間、希少性のある人的・物的資源を投入し、しかも数次にわたり、延伸してきたにもかかわらず、未了である。かくなる上は、早急に期限を設定し、事業の廃止ないしは土地収用法の援用、直接施行の手続きに入るべし。</p> <p>➢昭和63年より事業を施行してきて、30数年の期間が立ち、再度事業計画変更と令和7年度まで延期をしたのだから、これが最後だと思い完了を目指してほしい。</p>	

令和4年度 下野市行政評価市民評価シート【集計表】

事務事業名	学校教育サポートセンター整備事業	所管部課	教育委員会	学校教育課
総合評価	継続実施	類型区分	Ⅱ	継続的推進

	内部評価	委員評価	
必要性	A	A	7
		B	1
		C	1
有効性	A	A	7
		B	0
		C	2
効率性	B	A	3
		B	4
		C	2

			委員評価
内部評価について	妥当である		5
	おおむね妥当である		1
	やや妥当ではない	行政評価が高すぎるため	2
		行政評価が低すぎるため	0
	妥当ではない	行政評価が高すぎるため	1
		行政評価が低すぎるため	0

評価意見	<b>【妥当である】</b>
	<p>➢センター教員相談員が適切かつ十分な裁量を持って活動できる環境を、行政が率先して整えてほしい。</p> <p>➢当初は既存施設、例えば複合施設として新築された児童館で良いのではと思っていたが、利用者のプライバシー保護の観点等の説明を受け、考えを改めた。</p> <p>➢利用者も増えている傾向にあるため、予算的な問題もあると思われるが、先を見すえて充実した施設整備をしたほうが良い。</p> <p>➢現有施設の再利用等、積極的に利活用してほしい。旧石橋公民館の補修(雨漏り対策等)をして、再利用できないだろうか。</p> <p>➢子どもを自立した人間に教育し、育てることは、少子化により廃校が進む今日、最重要課題のはずであり、特に傷ついた子が翼を休め、次へ旅立つための支援をするサポートセンターは、極めて大事な施設で、廃校などで間に合わせて惨めな気持ちに陥らせることなく、居心地よく、楽しく学ぶことが出来る居場所を作り、登校意欲を高め、環境の良い所に必要な設備を備え、新しく整備することが望まれる。</p>
	<b>【おおむね妥当である】</b>
	<p>➢色々な相談を受けられると思われるが、より良い効果が上がるよう努力してほしい。</p>
	<b>【やや妥当ではない(行政評価が高すぎるため)】</b>
	<p>➢最近の建物新築が石橋に集中しているのではないか。大松山運動公園、公民館等々。</p> <p>➢相談件数が増加しているのは理解できるが、将来的には子供の数も減少していく状況の中、なぜレンタルでなくサポートセンターのためだけに箱ものをつくるのか。費用対効果や投資回収をどう考えているのか理解できない。会議においては廃校の利用等々、市内にある有休施設の利用の提案もあったが、サポートセンターのためだけに箱ものを作るのではなく、他の課の行政施策とも連携し、総合的な観点から施設の建設計画を考えてほしい。</p>
	<b>【妥当ではない(行政評価が高すぎるため)】</b>
	<p>➢高度成長時代で自治体の予算も右肩上がりの時代ならまだしも、公共施設の統合、整理が主要な行政課題の一つである現在、公共施設の新設は慎重を要す。廃校になった吉田東小・西小・国分寺西小の有効活用の一環として、移設したらどうか。</p>

令和4年度 下野市行政評価市民評価シート【集計表】

事務事業名	大松山運動公園第2期整備事業	所管部課	教育委員会	スポーツ振興課
総合評価	見直し実施	類型区分	Ⅱ	継続的推進

	内部評価	委員評価	
必要性	A	A	3
		B	4
		C	2
有効性	B	A	1
		B	6
		C	2
効率性	B	A	0
		B	7
		C	2

			委員評価
内部評価について	妥当である		0
	おおむね妥当である		3
	やや妥当ではない	行政評価が高すぎるため	1
		行政評価が低すぎるため	0
	妥当ではない	行政評価が高すぎるため	5
		行政評価が低すぎるため	0

【おおむね妥当である】

➢大松山運動公園は、市民のスポーツ活動の拠点でもあり、また憩いの場でもある。その施設の魅力を向上させつつ、機能を維持管理していく上で、民間の力を活用し、有効な施策を見出す可能性を上げるのも、一つの方法であると思われる。

➢スケートボード場としての整備はできないだろうか。小山市には2か所もあるようなので。

【やや妥当ではない(行政評価が高すぎるため)】

➢民間事業所の導入は良いと思いますが、調査等の費用が多すぎるように思える。業者に委託することでどのくらい経費の節約ができるのかを含め、再検討してもいいのでは。

【妥当ではない(行政評価が高すぎるため)】

➢当プール跡地(4,200㎡)、プール跡地・周辺駐車場など(10,000㎡)を対象とするPFI手法の導入そのものはその決定過程も含めて妥当であると「推測」はされる。しかし、「推測」と記載したように、「民間活力導入可能性調査」に1,000万円超(令和4年度)を充て、「民間事業者選定支援業務委託(アドバイザー業務委託)(令和5年度)に3,000万円の行政支出を行うことに関する説明資料が当委員会に一切提示されなかった。口頭説明も丁寧とはいえず、おそらく委員全員が上記4,000万円を拠出する理由・根拠が理解できなかったと思われる。

次回委員会の際、この点を説明する資料の提示を求めたい。その上で、最終評価の確定を行いたい。

➢一般的に、公共サービス・公共財は社会的に有用ではあるが、民間資本が参入しても事業としてペイしないものが多く、PFIの手法を活用し、設計・整備・維持管理等々を任せるとの事だが、利益になる部分のつまみ食いという結果にならないか、疑念を禁じ得ない。また、民間活力導入可能性調査及び民間事業者選定に4千万円もの予算を投入するという事は愚挙としか思えない。市民目線の欠如極まれの感がある。

➢大松山公園の2次整備とあるが、そもそも1次整備のときにはプール廃止後の活用に関し、どんな計画があったのか。そもそも2次整備がなぜ必要なのかが理解できない。街のスポーツ施設として今いったい何が課題で、そのためになぜ大松山の空きスペースを活用する必要があるのか。ましてやその計画をコンサルに丸投げして4千万円もの血税を使うのかまるで理解できない。

市のスポーツ設備の利用状況をレビューし、まったく足りていない設備はそもそもあるのか。何の手当をする必要があるのかをまず示してほしい。

➢この事業は、廃止したプール跡地の利用計画のほか、事業目的に謳っているように、収益力や採算性と効率化が前面に出ており、勿論これらも必要であるものの、ひたすら管理運営に軸足を置いた民間依存の計画のようであり、新しい施策や現施設の利用率アップ、利便性など、市民目線に立った施策が見えず、再考が望まれる。